

個人山行

飯豊（杵差岳・北股岳）

日時：2015年5月5日～8日
参加者：鳴原(L)・小俣(記)

連休の前半は快晴の毎日だったにもかかわらず、仕事で山に行けず、ちょっとストレスでしたが、後半の晴れ間を縫って飯豊に行けたことはとてもラッキーでした。計画頂いたリーダー有難うございます。

5月4日(月) 前夜8時ごろ、新潟県燕三条駅で鳴原さんと待ち合わせした時は土砂降りの雨。「明日の朝、本当にあがるの？」というほどの降りにて、運を天に任せ道の駅小国で仮眠に入る。

5月5日(火) 5時ごろ目覚めると、雨はあがっており雲は流れて晴れの予感。朝食後、小国から長者原登山口へ向けて移動。国民宿舎梅花荘手前の駐車場に車を止め、登山準備。

6:30 出発。村の中の道から雪の残る作業道へ、西俣ノ峰登山口と書かれた小さなプレートを左へ、いきなりの急登に取り付く 6:50。昨夜の雨ですべりやすくなった急な登山道をよじ登っていく。キツイ登りの脇にヤマツツジが咲き気を紛らわせてくれる。ようやく稜線に出ると風が涼しい！「大曲り」と名付けられた地点にて一休み 7:50～8:00。稜線に乗ると傾斜は緩み、歩きやすくなる。足元はイワウチワの可憐なピンクが群落に、頭上にはコブシの白い花が満開を迎えていました。愛でる余裕なくひたすら歩く。(これは私のみ、リーダーは余裕です) 8:35「十文字池」の標識もわからずひたすら歩く。雪面の傾斜が強くなり、西俣の峰に近いことを感じる。リーダーには先行してもらい、一休みしてアイゼン装着、頂上手前の急登を登る。雪面にはブナの黄緑の花が一面に散り白に黄色の模様が春を感じさせてくれる。下山時には茶色に変わってしまっており、この時だけの美しい色合いでした。

9:50 西俣ノ峰到着。「お待たせしました。」台地状の穏やかな頂上で休む～20。木間越しに、杵差岳方面が見える。鉾立峰が三角錐の美しい山容を見せています。ここから主稜線に乗り、4個以上はあるピークを越えて頼母木山を目指す。今年は雪解けが早く、雪と登山道が交互になる。雪山を期待したには残念な状態！アイゼンは外し緩んできた雪面を登山靴で登る。

すっかり雪が消え笹の急登になる。これを登りきると頂上と思いで、笹竹で滑りそうな斜面を必死に登りきると、山頂はまだ先！もう疲れで大ショック！ここは頼母木平 14:45。今夜の宿泊場所・頼母木小屋が見える。もう一頑張り！頂上を目指して頑張っていると、頂上から小屋へ向かって下りてくる鳴原さんを隣の尾根に見かける。あまりの苦しさに頂上をパスして雪面をトラバース、隣の尾根へ移り小屋へ一直線となってしまった。頼母木小屋着 15:30。



(西俣の峰からの頼母木山)



(地神山からの頼母木小屋)

5月6日(水) 今日は杵差岳までの往復だけなので、のんびり遅立ち 7:07。大石山 7:42。鉾立山 8:35。杵差岳 9:25～30。稜線上に雪はほとんど無く、まるで初夏の稜線の様相である。ここまで雪が無いとは・・・隣の二王子岳の展望やミネサクラの花を友に稜線ハイク。この稜線ハイクで「おバカさん」をやってしまいました。写真機代わりにしていた携帯を落としてしまい、ガーン！！でも、帰りに

必死に探しながら戻ると、有難いことに発見！ 良かった～ 手ぶらでは戻らずネマガリのチビを採取、食卓にのせる。小屋着 11:40。昼食後、鳴原Lは一人酒盛り、小俣は頼母木山へと自由行動。のんびり 1日を過ごす。



(西俣峰～鋭立峰)

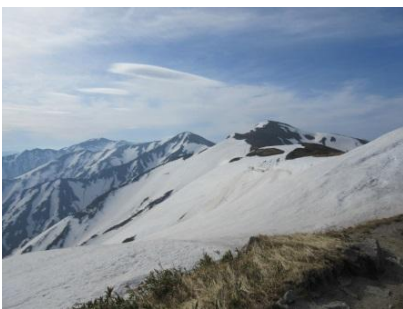


(鋭立峰からの二王子岳)



(ミネサクラ)

5月7日(木) 北股岳往復予定の日であるが、朝から雲行きが怪しいので早立ちとする。5:40 小屋



(.門内岳～飯豊本山、北股岳)

出発。頼母木山 6:00、地神山 6:35、梶川峰 7:00、門内岳 7:30。北股岳が目の前に大きく現れる。写真を撮ろうとするも強風でのんびり気分になれない。天気もつ間に北股まで行かねば… 北股岳 8:15～20、一昨年縦走してきた大日尾根を目にすることができる。ここでゆっくり思い出に浸るつもりだったが、雲が飛び大日岳方面が隠れてしまう。やはり、天気は下り坂か… 門内小屋までもどり、行動食をとることにする。9:05～45



(門内岳と門内小屋)

門内からは、前回諦めた二王子岳への縦走路が見渡せる。今年は全く雪が無く、蘆の稜線が続いている。しかし、北から見る二王子岳は雪をまとい、広々とした白い稜線を見せ新潟平野の盟主を感じさせ



(北股岳山頂)

てくれる。休んでいる内に、天気が回復傾向をみせてくる。帰路は梶川尾根に寄り道、主稜線を横から眺める 10:20。飯豊本山が正面に見える。後は、回復してきた天気を「タイミングが悪いな」と言いながら、のんびり小屋にもどる 11:50。今日も半日行動で午後は自由時間。小俣は雪の無い小屋前の草付でシュラフに入り昼寝(一度やってみたかった!)。午後からやってきたグループに「頂上からテントか? ツェルトか? 小さすぎる。」と話題を提供してしまった。



(梶川尾根からの大日岳)

5月8日(金) 今日下山日である。6:55 出発、雨がパラッとくる。「いよいよ今日は崩れるのか…」 山頂直下をトラバース(初日小俣がショートカットしてトラバースした所)して頼母木平に出る 7:15。崩れる前に下山と思いしっかり歩くが、天気は回復。9:19 西俣ノ峰に着くころには、晴天に。昨日も今日も早朝の天気が良くない空模様。頂上で休むには暑すぎるくらいの良い天気。本山の展望は最後、しっかり見納める。10:30 大曲り着。最後の下りとなる。登山口に 10:57、登

山口の沢にいっぱいのコゴミを時間も忘れて摘む。

国民宿舎梅花荘で入浴後、道々、鳴原Lの慧眼に導かれ山菜取りを楽しみながら帰路に着く。